

# 京大吉田寮 百年物語

現役最古の学生寮がたどった歴史と寮自治

吉田寮自治会と京都大学新聞社の  
全面協力により、多くの一次資料  
を参照して完成した、吉田寮通史  
の決定版！

京都大学新聞の連載企画を再構成

- ◆1897年の京都帝国大学寄宿舍創設から、京都大学当局による吉田寮現棟・寮食堂明渡請求訴訟が起こされた翌年の2020年までを対象とし、その歩みをたどる。
- ◆コラム・証言などよみもの・解説も充実、写真多数収録。
- ◆卒寮生や関係者から構成される、吉田寮百年物語編集委員会編。



四六判・並製本  
480頁

定価 3,300円(税10%込)

2025年7月刊行

電子版あり

ちいご  
発行 小 さ 子 社  
(2018年6月設立)

〒606-8233 京都市左京区田中北春菜町 26-21 TEL075-708-6834 FAX075-708-6839  
<https://www.chiisago.jp> mail: info@chiisago.jp

■ご注文方法■ 小 さ 子 社 の 書 籍 は、 最 寄 り の 書 店 ・ ネ ッ ト 書 店 で 注 文 で き ま す 。

- (1) 書店へご注文
- (2) インターネットからご注文（電子版もネット書店からご注文いただけます）  
小 さ 子 社 Web ショ ッ プ ・ 各 種 ネ ッ ト 書 店 を ご 利 用 い た だ け ま す 。  
インターネットで検索していただくか、右QRコードをご利用ください。
- (3) 下記注文書にご連絡先をご記入の上小社に FAX または メール ・ お 電 話  
→折り返し振込先をお知らせいたします。送料別途頂戴します（1冊発送の場合 350円・税込）



版元ドットコム  
本書詳細ページ  
へのリンク

FAX075-708-6839 メール info@chiisago.jp 電話 075-708-6834

注文書『京大吉田寮百年物語』 定価 3,300円 (税 10% 込) ISBN978-4-909782-18-2 小 さ 子 社 行

冊数	お名前	メール	TEL
冊	ご住所 〒		
	* 公費払いの場合必要書類をお知らせください		

# 詳細目次

## ■図面でみる吉田寮■

### 第1章 創設と移転から終戦まで

(1897年～1945年)

- 一 創設から一時閉舎まで  
京大創立と同時に寄宿舎誕生／戦前から続く唯一の旧帝国大学学生寮／大学の拡充と学生気質の変容／木下総長による一時閉舎／教育的効果を目的に寄宿舎を再開／寮自治の始まり／学風刷新へ／明治時代の寄宿舎の年間行事／菊池総長による運営方針の再転換と閉舎・解体
- 二 寄宿舎移転から終戦まで  
新しい寄宿舎の歴史が始まる／新たな寄宿舎運営／大学自治の拡大／大正時代の舎生の生活／寄宿舎の人気／ファシズムの始まり／昭和へ／食堂の自炊制度の始まり／寄宿舎移転問題とその解決／戦時下の寄宿舎生活の混乱

### 第2章 戦後の混乱、増寮運動

(1945年～1967年)

- 一 戦後の混乱  
戦後の混乱下、寄宿舎の自治を維持／研学修養・切磋団体の旗を降ろす／自由な住処へ／二人一室制と増寮運動の開始／楽友会館返還運動／学園復興会議、荒神橋事件／松浦さんの退舎をめぐる／自治憲章の制定／学生側から／寄宿舎規程の制定／大学側から
- 二 増寮運動  
寮の名称と「寄宿舎規程」改正運動／宇治寮・吉田西寮・女子寮の増寮と水産寮／熊野寮・室町寮の増寮と二千人寮プラン／文部省の学寮運営方針の変容／全国で新方針への反発運動／寮費不払闘争

### 第3章 学生部封鎖、第一次在寮期限

(1968年～1989年)

- 一 学生部封鎖  
京大方式で対立の激化を回避／学生間の対立／三項目要求から学生部封鎖へ／学生部封鎖解除 京大闘争へ／寄宿舎OBとの繋がりの中断／入寮権に関する合意へ／寮内での対立と寮生数の激減／教育面で学寮を不要とする文部省方針／竹本処分を敢行 寮の「正常化」へ
- 二 第一次在寮期限  
大学の管理強化の深まり／学寮の「正常化」へ確約の破棄／「在寮期限」の評議会決定／新寮予算の見送り／「在寮期限」の執行完了

### 第4章 寮空間の多様化、食堂補修・新棟建設

(1990年～2014年)

- 一 寮空間の多様化 団交確約体制の再確立  
入寮資格枠の拡大と全室相部屋化／「吉田寮食堂」の自主管理空間化／他大学の自治寮の支援／アーカイブズの充実／団交確約体制の再確立と新寮問題／食堂の半部分が焼失／副学長制導入と学生部再編 情報公開連絡会の開催へ
- 二 新寮獲得から現寮補修の模索へ  
進まない新寮建設の交渉／現寮補修維持方針の浮上／吉田寮への大学の評価／耐震診断の実施／京大の意思決定機構の変化／突然提案された一〇億円の現寮建て替え計画
- 三 食堂補修・新棟建設の決定と歴史的価値の発見  
歴史的建造物と認識されていなかった／木造建造物の評価が高まる／当局による建て替え・増棟の計画案／大規模補修の実現性を探る寮内特別委員会が発足／新棟の交渉が再開／食堂の存廃をめぐる／現棟補修の検討の本格化／建築基準法の制約と京都市条例／新棟建設・食堂補修工事が着工／全学委員会の設置と廃止

### 第5章 老朽化対策交渉の停滞から

「第二次在寮期限」へ

(2015年～2020年)

- 一 当局執行部の交代と交渉の停滞  
山極総長体制が始まる／他理事の意向を受け交渉がストップ
- 二 「入寮募集停止」をめぐる争い  
入寮募集停止の要請／山極総長に公開質問状／杉方副学長の辞任／川添副学長の就任／情報公開連絡会の中止 学生との対話の場が消失／二度目の入寮募集停止の要請／川添副学長が職員に取り次ぎ拒否を指示／吉田寮の歴史的・文化的価値の再発掘／続く入寮募集停止要請
- 三 全寮生への退去通告  
「基本方針」の発表／代替宿舎事業の推進／少数者による話し合いの開催／「退去期限」の到来
- 四 争いは法廷へ  
ちらつく訴訟と、寮側の提案／ついに提訴へ

### ■コラム■

- 1 もう一つの吉田寮―「吉田西寮」小史―(盛田良治)／2 森毅と京大／3 竹本処分紛争／4 旧寮・新寮・新々寮と「新々寮四条件」(長谷川吉典)／5 吉田寮の資料室―一次資料の蓄積―(長谷川吉典)／6 京大の耐震化推進(一) 取り残される吉田寮、西部講堂／7 京大の耐震化推進(二) 二度目の吉田寮耐震調査／8 新棟建設とオールジェンダートイレ(大隅崇)／9 吉田寮をめぐる予算／10 近年の大学運営方式の変化／11 市民と考える吉田寮再生百年プロジェクト(喜友名正樹・繁澤良介)

### ■史料からみる吉田寮■

- 1 河上肇教授講話(一九一五年)／2 敗戦直後の舎生の生活(一九四五年)／3 奥田東「寮に寄せる」(一九六五年)／4 佐木綱「青春を謳歌できる京大らしい寮を」(寮について思うこと)(一九八四年)／5 一九八六年度入寮パンフレット『生活指南』への森毅・浅田彰寄稿文(一九八六年)／6 住友則彦「寮生との一年間を振り返って」(一九八八年)／7 西島安則「吉田寮在寮期限設定に伴う一連の措置の完了について」(所感)(一九八九年)／8 あつき「あついで! 吉田寮炎上」(一九九七年)／9 尾池和夫「京都大学吉田寮を訪ねて」(二〇〇九年)／10 西村周三「寮の意義について」(二〇一〇年)／11 確約「吉田寮現棟(管理棟・居住棟)の建築的意義」(二〇一二年)

### ■証言■

- 1 自炊の安全と調理場の改修を達成した吉田寮の自治(富岡勝・奈倉道隆)／2 新寮(熊野寮)建設闘争の記憶(折茂勝巳・山本駿)／3 寮生活は思想を育む(高橋龍太郎)／4 文化情報局再建と資料集(山本英司)／5 自主管理空間としての吉田寮食堂(唐仁原俊博)／6 生活ぐるみの異文化交流―留学生への日本語学習支援の経験から―(藤吉圭)／7 家族で入寮するまでの経緯―サーバーフティネットとしての機能―(松野晴美)

### ■論考■

- 1 初代総長木下広次と寄宿舎(富岡勝)／2 吉田寮現棟・食堂「京大最古」の建築的価値／3 戦前期吉田寮のアジア人留学生たち(盛田良治)／4 寮「自治」考「責任ある自治」とは何か(福家崇洋)／5 入寮枠の性別要件をめぐる歴史(大隈崇)／6 吉田寮と大学の「確約」について(木村大治)／7 三つの史料に見る団交というコミュニケーション／8 自治寮が培う生活の自律性(奈倉道隆)／9 学生生活委員として感じたこと(伊勢田哲治)／10 「建築文化財」京大寄宿舎(吉田寮)の保存・活用(中尾芳治)／11 近年の「教育寮」「国際学生寮」と吉田寮(富岡勝)

### ■吉田寮関係年表■

※執筆表記のないものは編集委員会執筆